

## カインズが愛知県一宮市、西尾市と 「災害時における生活物資の供給協力に関する協定」を締結

株式会社カインズ(本社:埼玉県本庄市、代表取締役社長 CEO:高家 正行)は、2022年3月1日(火)に愛知県一宮市、西尾市と「災害時における生活物資の供給協力に関する協定」(以下、本協定)を締結したことをお知らせします。

本協定は、愛知県一宮市、西尾市それぞれの市とカインズが、災害時に相互に協力して地域の方々の生活の安定を図るために、生活物資の供給協力について定めたものです。万が一、生活物資が必要になる場合は、カインズが各市の要請に応じて、近隣の当社の物流拠点から、日用品等の生活必需品や災害時の応急対策に必要な物資を供給します。さらに、近隣の店舗からも状況に応じて物資を供給し、避難生活をサポートします。



カインズは、先般策定した「くみまち」構想において、防災・災害対策を、日本の地域や暮らしが抱える様々な課題を分類した「くみまち 15 の共創価値領域」の1つとして位置付け、災害関連の協定を締結するなど、全国の自治体と様々な取り組みを進めています。

カインズは愛知県内に 13 店舗を出店しており、愛知県をはじめ、県内の各自治体(名古屋市、半田市、豊田市、蒲郡市、常滑市、小牧市、稲沢市、美浜町)と災害関連の協定を締結しています。この度の一宮市、西尾市との協定を含めると、カインズが全国の自治体と締結する災害関連の協定数は 217 となります。

カインズは今後も、それぞれの地域で防災や災害への取り組みを進め、「まちのライフライン」として安心なくらしの実現に貢献してまいります。

## <「くみまち」構想について>

創業以来、「商業を通して社会の発展に貢献する」ことを志に、それぞれの店舗が、それぞれの地域の皆様の暮らしに寄り添いながら事業活動を行っている、カインズならではの構想です。店舗やそこで働くメンバー（従業員）がハブとなり、それぞれの地域における困りごとや関心、ニーズに丁寧に耳を傾け、暮らしに携わる様々なステークホルダーと協働/共創することで、人々が自立し、共に楽しみ、助け合える、“一人ひとりが主役になれる「まち」(≒地域社会)”の実現を目指します。

## <カインズについて>

株式会社カインズは、28都道府県下に227店舗を展開するホームセンターチェーンです。

「暮らしに、ららら。」をお客様とのプロミスとし、日常生活に寄り添うライフスタイルの提案と、住空間のトータルコーディネートを意識した商品づくり、店舗づくりに努めています。暮らしを豊かにする商品を、オリジナル商品の開発と、独自の仕入れ・物流システムの活用により、毎日低価格で提供します。

## <株式会社カインズ 概要>

代 表 者： 代表取締役会長 土屋 裕雅

代表取締役社長 CEO 高家 正行

設 立： 1989年3月

本 部 所 在 地： 埼玉県本庄市早稲田の杜1-2-1

資 本 金： 32億6,000万円

事 業 内 容： ホームセンターチェーンの経営

従 業 員 数： 13,097名(2021年2月末)

店 舗 数： 227店舗

公 式 サイト： <https://www.cainz.co.jp/> (企業サイト)

<https://www.cainz.com/> (オンラインショップ)

<https://magazine.cainz.com/> (となりのカインズさん)